

【収入保険】私の選択・加入者の声



「けがや病気に備えて」

【兵庫県神戸市 大西 俊治さん（59）】

ともに87歳の両親、55歳の妻とイチゴ13.5アール（地域ブランド「二郎イチゴ」を直売）、水稲67アール（うち27アールを弁当販売店へ卸売り）を栽培しています。

昨年の3月に左腕に大けがを負い、3カ月ほど農作業ができなくなって、家族に大きな負担をかけることになりました。**けがや病気で収穫できなくなったときの保険の重要性を痛感し、収入保険への加入を決めました。**

これまで加入していた園芸施設共済と建物共済も引き続き加入しています。両方に加入することで、資産であるハウスや建物と収入が補償され安心です。

青色申告は2004年から実施しています。白色申告と手間も大きく変わらず、取引などの信頼性が高まって良いですね。

25歳の息子が農業実習を行っており、後を継いでくれるようです。**収入保険や農業共済に加入することで、息子も安心して継げる**と思います。

（農業共済新聞 2019年5月4週号より抜すい）